つちのえいぬ

今年は「戊戌年」

～暦　干支　縁起物～

得する街のゼミナール
長岡まちゼミ

『十二支読本　暦と運勢のしくみを読み解く』稲田 義行／著　創元社　2017

陰陽五行とともに暦を構成する「干支」から、方位・時刻・暦のしくみを紐解きます。旧暦では、干支の組み合わせを解釈することで吉凶などの目安としていました。日本の年中行事や習慣には、今でも旧暦のしきたりが息づいています。暦への理解が深まる一冊です。

『旧暦読本　日本の暮らしを愉しむ「こよみ」の知恵』改訂新版　岡田 芳朗／著　創元社　2015

旧暦と新暦の違いや二十四節気と七十二候など、暦について詳しく知ることができる一冊。十二か月に関連して形成された十二支についても詳しく解説されています。巻末には 2020 年までの新暦／旧暦対応表も収録。

『全国の犬像をめぐる　忠犬物語 45 話』青柳 健二／著　青弓社　2017

有名な東京・渋谷の「忠犬ハチ公」をはじめ、犬像は全国各地にたくさんあり、それぞれに伝説や物語があります。県内では雪崩から主人を救った「忠犬タマ公像」（新潟市・五泉市）が紹介されています。全国の知られざる忠犬物語の世界をのぞいてみませんか。

『作家の犬』１・２　コロナ・ブックス編集部／編　平凡社　2007・2013

日本を代表する作家たちと、その愛犬にまつわる物語。バスから飛び下り迷子の飼い犬を追いかけた志賀直哉や、フランスの女優ブリジッド・バルドー似の愛犬にメロメロだった寺山修司など、愛情あふれるエピソードが満載です。

『縁起物　福を招くかたち』「現代用語の基礎知識」編集部／編　自由国民社　2016

お節料理、鏡餅、だるま、招き猫、引き出物・・・日本には縁起物がたくさんあります。四季折々の行事には縁起物が付き物。なぜ人々が願を託すようになったのか、その由来や歴史を知って、大いに縁起を担ぎましょう。

長岡市内の図書館にある本のリストです。ご希望の際には各図書館でお申し付けください。

長岡市立中央図書館作成　平成３０年１月